

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2019年4月号

NO. 306

TOPICS

広報担当就任、おめでとうございます！ 広報は重要な「経営機能の一つ」です

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 江良俊郎

MESSAGE P3

新会員制度について

ATTENTION P4

「広報・PR入門講座」を4月開講

ATTENTION P5

「広報・PR実務講座 2019」を4月開講

ATTENTION P7

『広報・PR概説』『広報・PR実践』優待販売のご案内

ATTENTION P11

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 畔柳 一典

4月号 目次

| | | |
|---------------------|--------------------------------------|------|
| 4月～5月のスケジュール | | — 1 |
| MESSAGE(メッセージ) | 広報担当就任、おめでとうございます！ 広報は重要な「経営機能の一つ」です | — 3 |
| ATTENTION(お知らせ) | 新会員制度について | — 4 |
| 〃 | 「広報・PR入門講座」を4月開講 | — 5 |
| 〃 | 「広報・PR実務講座2019」を4月開講 | — 7 |
| 〃 | 『広報・PR概説』『広報・PR実践』優待販売のご案内 | — 11 |
| BULLETIN(活動報告) | 「コミュニケーション・ケーススタディ講座」を終了 | — 12 |
| 〃 | 第2回「広報・PRプラクティカル・トレーニング」を開催 | — 13 |
| 〃 | 1次試験結果発表 | — 14 |
| 〃 | PR業経営者懇談会を開催(会員限定) | — 15 |
| REPORT(講演レポート) | 第197回定例研究会(会員限定) | — 16 |
| VOICE of PR PLANNER | 媒体社だからこそ活かすPRプランナー資格 | — 17 |
| 四国の風 | 日本パブリックリレーションズ協会との出会い | — 18 |
| 協会掲載記事 | 「PRSJ in Media」 | — 20 |

4月～5月スケジュール

| | | |
|-----------------------------|-------|--|
| 第 20 回企業部会フォーラム | 日 時 | 4 月 16 日(火) 17:00～～20:00 |
| | 会 場 | パナソニック東京汐留ビル |
| | 講 師 | 日経 XWOMAN 編集長 羽生祥子(はぶ さちこ)氏 |
| | テ ー マ | 20 代から 50 代まで、働く女性向け世代別 Web メディア 日経 XWOMAN プロジェクト |
| PRパーソンズ ミーティング 2019 | 日 時 | 4 月 18 日(木)17:30～20:10 |
| | 会 場 | HASSOCAFFE with PRONTO 神保町店 |
| 第 199 回 定例研究会 | 日 時 | 4 月 19 日(金) 12:20～ |
| | 会 場 | コンベンションルーム AP虎ノ門 |
| | 講 師 | NHK 報道局経済部長 小椋並樹氏 |
| | テ ー マ | 放送新時代に向けたNHKの経済報道 ～激変するメディア環境におけるこれからの報道番組作り～ |
| 広報・PR実務講座 2019 広報・PR入門講座 | 日 時 | : 4 月 23 日(火)～25 日(木) 3 日間 9:00～17:50 |
| | 会 場 | : 富士ソフトアキバプラザ |
| PRプランナー資格認定検定 2 次試験 | 日 時 | : 5 月 12 日(日) 9:30～16:00 |
| | 会 場 | : 東京富士大学(東京) 毎日インテシオ(大阪) AQUA博多(福岡) |
| 企業部会総会 | 日 時 | 5 月 30 日(木)18:00～(予定) |
| | 会 場 | Alice aqua garden 品川 |

予 告

通常総会開催

日 時 : 2019 年 6 月 6 日 (木)
通常総会 16:00～(予定) / 懇親パーティ 18:30～(予定)

会 場 : 公益財団法人国際文化会館
通常総会 「岩崎小彌太記念ホール」
懇親パーティ 「樺山・松本ルーム」

4月～5月の理事会・委員会・部会スケジュール

| | | | | | |
|----------|--------|-----|---|---------------|-------------|
| 定例理事会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 11 日 (木) | 16:00～17:30 |
| | (5 月度) | 日 時 | : | 5 月 9 日 (木) | 16:00～17:30 |
| | | 会 場 | : | 公益財団法人 国際文化会館 | |
| 教育委員会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 17 日 (水) | 12:00～13:30 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |
| 資格委員会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 25 日 (木) | 12:00～13:30 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |
| 国際・交流委員会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 19 日 (金) | 16:30～18:00 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |
| 広報委員会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 23 日 (火) | 16:00～17:30 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |
| 顕彰委員会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 24 日 (水) | 12:00～13:30 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |
| 企業部会幹事会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 3 日 (水) | 17:00～18:30 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |
| PR業部会幹事会 | (4 月度) | 日 時 | : | 4 月 16 日 (火) | 16:00～17:30 |
| | | 会 場 | : | 協会会議室 | |

広報担当就任、おめでとうございます！ 広報は重要な「経営機能の一つ」です

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
副理事長 江良俊郎

4月から新たに企業の広報担当になられた方、またこの春からPR会社などに入社された新入社員の方、ようこそ、広報・PR業界へ！

広報活動、広報業務といっても、内容はとても広範なものです。広報は「パブリック・リレーションズ」とも呼ばれます。その意味は「組織体とその存続を左右するパブリックとの間に、相互に利益をもたらす関係性を構築し、維持するマネジメント機能である」と小難しいですが、端的に言えば「相互の信頼関係の構築」が基本だ、とご理解ください。

このほか広報担当者として知っておいた方がよい考え方や手法もありますし、メディアリレーションに関する知識や、マーケティング広報、デジタルPRのスキルも必要となってきた時代です。企業や立場によって必要なスキルは異なりますが、広報業務を担当するからには身につけるべき知識やスキルを早めに習得し、日々進化する広報業務に柔軟に対応したいものです。

一方で「広報は失敗できない」とも言われます。失敗がわかりやすく、その影響も計り知れないからでしょうか。

当協会の教育委員会では、国内の広報人材の育成を掲げ、広報担当者のスキルアップに役立つ最新手法やケーススタディの紹介、大手マスメディアの編集幹部を呼んでお話をうかがう「定例研究会」などの教育研修プログラムを多数提供しております。

なかでも4月23日（火）～25日（木）に東京・秋葉原で開催予定の「広報・PR入門講座」は、協会が実施する各種講座・勉強会の中で最も基礎的な内容です。「企業広報における広報・PRの基本」、「危機管理広報」、「SDGsと広報活動」、「大手新聞社の経済報道とデジタル戦略」、「マーケティングPR基本と実務」など3日間で11講座が用意され、カリキュラムを集中的に学べるとして高い人気を得ています。

特に2日目の「ニュースリリースの書き方」、3日目の「メディアの特性とメディアリレーションズ演習」ではグループワークが予定されています。いずれも実践経験豊富な講師の方々から、実務と理論の両方を学ぶ機会です。是非、ご検討ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会員制度移行に伴うお手続きにご協力いただき ありがとうございます

平素より協会活動にご協力頂き、ありがとうございます。

会員の皆様には、大変お忙しい中、新会員制度開始に伴う移行手続きにご協力いただき誠にありがとうございました。

移行手続きを無事に完了させていただき、4月から新たな会員制度のスタートとなりましたので、ご報告を申し上げます。

4月1日時点の会員数は下記のとおりです。

<平成31年度4月1日からの会員数(※3月19日時点)>

| 種別 | 当月合計 | 内訳 | 会社数 | 会員数 |
|--------|------|------------|------|------|
| 正会員 | 会社数 | 企業 | 179社 | 182名 |
| | 345社 | PR業 | 147社 | 155名 |
| | 会員人数 | その他(官庁・団体) | 19社 | 19名 |
| | 356名 | 関西 | 46社 | 48名 |
| 個人会員 | 185名 | | | |
| 准会員 | 7名 | | | |
| 法人登録会員 | 19名 | | | |
| 特別会員 | 6名 | | | |
| 総員数合計 | 573名 | | | |
| 法人賛助会員 | 1社 | | | |

★PRSJでは会員の皆様の利便性向上のため、4月1日より「会員専用マイページ」を開設いたしました。すでにメールでご案内しておりますが、ご利用にはパスワードのご登録手続きが必要になります。

以下のリンクをクリックしパスワードのご登録手続きをお願いいたします。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=milb-sblek-56464964387205e62eddb72afb946a6a>

★正会員は役員・職員の方もマイページを利用できます。

正会員の皆様は、会員ご本人様に限らず、その企業・団体の役員・職員の方々もマイページのアカウントを作成し、利用することができます。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=milb-sblek-56464964387205e62eddb72afb946a6a>

【問い合わせ先】 TEL : 03-5413-6760 / Mail : mail@prs.or.jp

広報・PR実務講座 2019

＜再掲＞「広報・PR入門講座」を4月開講

～4月23日から25日まで。受講申込みを協会 Web サイトで受付中～

教育委員会

協会ニュース3月号でもお知らせしましたが、来る4月23日(火)・24日(水)・25日(木)の3日間、広報・PR業務の新任者を主な対象とする「広報・PR入門講座」を、東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」で開講いたします。

「広報・PR入門講座」は、新入社、新任や異動により新たに広報・PRの業務に着任する経験の浅い広報・PR実務者を主な対象として、実務に必要な基礎的知識やスキルを3日間で習得する研修講座です。昨年までは「広報・PRスタートアップ講座」として開講しており、この数年は毎回70名を超える多くの受講者の皆さまにご参加いただいております。

4月23日から25日まで3日間にわたる講座では、多彩な講師による講義を通じて、パブリックリレーションズの基本をはじめとして、企業広報、マーケティング広報、危機管理広報、デジタル・コミュニケーションなど広報・PRの基本となる幅広い知識を学びます。また、講義だけではなく演習(グループワーク)も予定しており、ニュースリリースの書き方やメディアリレーションズの基本など、広報・PR実務の基本を実践的に身に付けることができます。

講師には、広報・PRの実務専門家、弁護士、大手企業マネージャー等の方々を迎え、日々刻々と変化する現場の実際に即し、すぐにでも現場で活用できる生きた広報・PRを学ぶことができます。広報・PRの新任実務者には最適な研修です。PR会社、企業の広報・PR部門などで、新たに広報・PRの仕事に取り組む多くの皆様のご参加をお待ちします。

なお、受講の申込みは4月19日まで受け付けます。講座の詳細ならびに申込み方法については、以下の広報PRアカデミーのWebサイト(以下URL)をご覧ください。

<https://event.prsj.or.jp/practical-course2019/entry-class>



2019 度「広報・PR 入門講座」の概要

■プログラム

| 日程 | 時間 | 講座タイトル | 講師 |
|------------------|-----------------|---|------------------------------|
| 4月 23日 (火) | 9:00 | ご挨拶／オリエンテーション | 日本 PR 協会 教育委員会 |
| | 9:10 ～10:40 | 「『企業広報』とはどんな仕事？ ～企業における広報・PRの基本と実際～」 | 飾森亜樹子氏 (日本電気株) |
| | 10:50 ～11:50 | 「法とコンプライアンスの観点から見た広報・PR ～平時・有事の広報業務で留意すべき法的ポイント～」 | 中村勝彦 弁護士 (TMI総合法律事務所) |
| | 13:00 ～14:30 | 「『パブリックリレーションズ』って何だろう？ ～パブリックリレーションズの基礎を学ぶ～」 | 横田和明氏 (株)井之上パブリックリレーションズ) |
| | 14:40 ～16:10 | 「あなたもコミュニケーションのプロフェッショナル ～魅力ある広報・PRパーソンになる秘訣～」 | 石橋眞知子氏 (エトワゼットネットワーク) |
| | 16:20 ～17:50 | 「5G時代のコーポレートコミュニケーション ～変化するメディア環境とこれからの広報・PR～」 | 菊地伸行氏 (株)日本経済社) |
| 4月 24日 (水) | 9:00 ～10:30 | 「危機管理広報の基本 ～緊急時等における広報担当の役割と重要性～」 | 兵頭 茜氏 (株)エイレックス) |
| | 10:40 ～12:10 | 「社会を変える SDGs これだけは知っておこう ～SDGs 推進における広報・PR の役割を考える～」 | 森 撰 氏 (株)オルタナ) |
| | 13:20 ～17:50 | 「マスター必須！ ニュースリリースの基本 ～役割と作成法、活用の仕方を習得する～」<講義と演習> | 青田浩治 氏 (株)電通パブリックリレーションズ) |
| 4月 25日 (木) | 9:00 ～10:30 | 「成果のあがるマーケティングPRの進め方 ～すぐに役立つマーケティングPRの基本と実務～」 | 芹澤愛有子 氏 (株)インテグレート |
| | 10:40 ～12:10 | 「朝日新聞社の経済報道とデジタル戦略 ～一般新聞・経済部が広報担当に求めること～」 | 丸石伸一氏 (朝日新聞東京本社) |
| | 13:20 ～17:50 | 「メディアの特性とメディアリレーションズの実際 ～メディアとの上手な付き合い方～」<講義と演習> | 田代 順 氏 (株)マテリアル) |

※協会ニュース 3 月号でお知らせしてから、4 月 23 日、24 日のプログラムを一部変更しています。

※講座タイトル、スケジュールの一部変更については、ご了承お願い申し上げます。

■受講費用

(単位:円、消費税込み)

| | 3日間一括受講 | 一日受講 |
|--------------|---------|--------|
| 日本PR協会会員 | 54,000 | 21,600 |
| PRプランナー(准・補) | 70,200 | 28,080 |
| 一般 | 81,000 | 32,400 |

※会員料金でお申込みの際は、4月1日以降も会員(准会員を含む)であることをご確認ください。

(事務局・真部)

広報・PR実務講座 2019

「広報・PR実務講座 2019」を 4 月開講

—より実務に資する広報・PRの専門研修—

教育委員会

協会では、広報・PR実務者の養成に向けた専門研修「広報・PR実務講座 2019」（4コース4講座20プログラム）を、2019年4月から開講いたします。その第一弾として、広報・PRの新任者を主な対象とする「広報・PR入門講座」を、4月23日から3日間、東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」において開催します。

「広報・PR実務講座」は、昨年まで開講していた「広報・PRアカデミー」を大幅に見直し、よりいっそう実務に資することを趣旨として改訂及び改称した広報・PRの専門研修です。今年度より新たに発足する研修であり、経験の浅い実務者による広報・PRの基本的知識・スキルの習得をはかる「基礎コース」、業務における一定の経験を持つ実務者の専門的能力の向上をねらいとする「中級コース」、広報・PR部門の管理職を対象としてマネジメント能力の養成をはかる「広報・PR管理職コース」、PRプランナー試験に合格する実力の養成をはかる「PRプランナー試験対策講座」の4つのコース、さらにタイムリーな話題を共有する「PRS Jセミナー」で構成され、全20プログラムを予定しています。



「広報・PR実務講座」で秋期に予定されている「広報・PR入門講座」は、今年度下期から広報・PRの業務に着任する実務者を対象としており、春期講座と同様の充実した内容の研修を提供します。

また、昨年度の「広報PRアカデミー」では「広報・PRプラクティカル・トレーニング」及び「コミュニケーション・ケーススタディ講座」として提供していた経験者向けの研修内容を整理統合し、それぞれのテーマに最適なグループワークやケーススタディをとり上げる「広報・PRスキルアップ実践講座」として一元化をはかりました。本講座では、特にニーズの大きい「危機管理広報」「デジタルPR」の領域では演習を交え充実した内容の講座を設けるほか、重要性の高いテーマをとり上げる6プログラムを加えた全8プログラムを開講する予定です。



各プログラムの詳細案内と受講受付は、開講1~2か月前に下記Webサイトで行います。

日本パブリックリレーションズ協会 「広報・PR実務講座」Webサイト
<https://event.prsj.or.jp/practical-course2019>

「広報・PR実務講座 2019」の概要

■基礎コース

●広報・PR入門講座

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座期間 | 定員 |
|-------------------|--|------------------------|-------|-----|
| 広報・PR入門講座 (春期) | 新入社、社内異動等による広報・PR業務の新任者が対象。パブリックリレーションズの基本をはじめとして、広報・PR業務に欠かせない最も基本的な知識、スキルを3日の研修を通じて習得する。 | 2019年 4月23日 ～25日 | 全日/3日 | 60名 |
| 広報・PR入門講座 (秋期) | 秋期からの広報・PR業務の新任者が対象。パブリックリレーションズの基本をはじめとして、広報・PR業務に欠かせない最も基本的な知識、スキルを2日間の研修を通じて習得する。 | 2019年 10月 | 全日/2日 | 60名 |

■中級コース

●広報・PRスキルアップ実践講座

| 講座テーマ | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|-------------------|---|--------------|---------------|-----|
| 危機管理広報 (講義+演習) | 企業等における緊急事態へ対処できるよう、広報・PR担当者に不可欠となる考え方や心構え、コミュニケーション施策の立案やメディアへの対応法など、危機管理広報の基本について講義と演習を通じて習得する | 2019年 7月 | 午後半日 (4時間) | 40名 |
| 企業広報実務 (講義) | 不祥事や事故、ネットにおける炎上や情報漏洩など、組織体における危機の原因、対応における成功や失敗について具体的なケーススタディを通じて解説し、広報・PR担当者が備えるべき心構えや対応のポイントを習得する。 | 2019年 9月 | 夜間 2時間 | |
| 危機対応 (講義) | 企業等における緊急事態へ対処できるよう、広報・PR担当者に不可欠となる考え方や心構え、コミュニケーション施策の立案やメディアへの対応法など、危機管理広報の基本について講義と演習を通じて習得する。 | 2019年 10月 | 夜間 2時間 | |
| マーケティングPR (講義) | 商品の販売や市場における普及を目的とするマーケティングPRについて、効果を上げる新しい考え方や手法、計画の立案法などについて、理論やケーススタディを通じてそのポイントを習得する。 | 2019年 11月 | 夜間 2時間 | |
| デジタル危機対応 (講義) | 情報技術の発達に基づくデジタル化を背景に発生する緊急事態において、広報・PR担当者に求められる考え方や心構え、危機管理施策の立案やメディアへの対処法などの基本について、理論やケーススタディを通じて習得する。 | 2019年 12月 | 夜間 2時間 | |

| 講座テーマ | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|-------------------|--|-------------|---------------|-----|
| 社内広報 (講義) | 社内、グループ内における経営理念の浸透、企業文化の醸成などを目的とするインターナル・コミュニケーションについて、その経営的な意味や役割、戦略及び施策の立案などのポイントを理論やケーススタディを通じて習得する。 | 2020年 1月 | 夜間 2時間 | 40名 |
| 広報効果測定 (講義) | 広報・PRがその活動を通じてどのような成果をあげたかその効果を測定するための手法や考え方などについて、理論やケーススタディを通じて習得する。特に、デジタルを活用したコミュニケーション手法の普及を考慮し、その測定についてとり扱う。 | 2020年 2月 | 夜間 2時間 | |
| デジタルPR (講義＋演習) | デジタルメディアやデジタルツールの普及を背景に成立した現在のコミュニケーション環境において、広報・PR効果の上がる技法の習得を目的として開講する。そのコミュニケーション環境の現状や特性を理解するとともに、これからのPRプランニングの考え方や実務においてデジタルを活用するポイントを講義と演習を通じて習得する。 | 2020年 3月 | 午後半日 (4時間) | |

■広報・PR管理職コース

●新任広報部長講座

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|-------------------------------------|---|--------------|------|-----|
| 新任広報部長講座 お悩み解決の交流サロン～ベテラン広報部長に学ぶ | 新任の広報部長や広報担当役員などの上級管理職を対象として特化し、少数限定のサロン形式で開講。上級管理職として就任後の悩みを共有し、講師とともに解決策を探ることをコンセプトとする。 | 2019年 11月 | 午後半日 | 18名 |

■PRプランナー試験対策講座

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|----------|--|-----------------------------|-------------------|-----|
| 1次試験対策講座 | 広報・PRの幅広い内容を平易に解説し、1次試験の合格に必要な知識の習得をめざす講座。1次試験の実施時期に対応させ、2019年7月の夏期と2020年1月開講の冬期の2期に分け、それぞれ全4回を開講する。 | 2019年 7月 2020年 1月 | 夜間 150分 全4回 | 40名 |
| 2次試験対策講座 | 広報・PRにかかわる専門分野を平易に解説し、2次試験の合格に必要な知識の習得をはかる講座。ネットを活用したオンデマンド方式のWeb講座の予定。 | 2019年度 内 | オンデマ ンド方式 | なし |
| 3次試験対策講座 | 3次試験の課題となるニュースリリース、広報・PR計画の立案作成(マーケティング及びコーポレート)の3テーマについて、講義と演習を通じて合格に必要な知識とスキルを習得する試験対策の実践講座。3次試験の実施時期に対応させ、2019年6月の夏期、12月開講の冬期の2期に分け、それぞれ全6回を開講する。 | 2019年 6月 2019年 12月 | 夜間 150分 全6回 | 40名 |

■PRSJセミナー

●事例セミナー

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|--------------------------|--|-------------|-------------|------|
| PRアワード 受賞事例公開 セミナー | 「PRアワードグランプリ」のグランプリをはじめとする優れた顕彰事例を紹介する。広報・PR事例に関心を持つ実務者一般、研究者、学生を対象に、成功したプロジェクト事例について講演と質疑、さらに審査員メンバーによるトークセッションを通じて、企画アイデアや推進の考え方、工夫等を学ぶセミナー。 | 2020年 2月 | 夜間 2.5時間 | 110名 |

●オープンセミナー

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|------------------|---|---------------------|-------------|------|
| PRSJ オープンセミナー | 広報・PRとも関連する社会的かつタイムリーなテーマを設定して開催するセミナー。協会会員にとどまらず一般にも聴講を募り、設定したテーマについての理解や知見を深める。 | 2019年 9月 (予定) | 夜間 2.5時間 | 110名 |

●新春PRフォーラム

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|-------------------|---|---------------|-------------------|------|
| 新春PRフォーラム 特別講演 | 新しい年の国内外の情勢を予測するテーマやPRに関する重要なテーマを設定し、2019年度もそのテーマに知見の強い著名な講師によって、様々な角度から問題を掘り下げる。 | 2020年 1月下旬 | 夕方 1～1.5 時間 | 100名 |

●PRプランナーフォーラム

| 講座名 | 講座概要 | 開講時期 | 講座時間 | 定員 |
|------------------|--|------|------|----|
| PRプランナー フォーラム | 「PRSJ認定PRプランナー」の自己研鑽を目的として開催するセミナー。広報・PRにおける高いレベルでの業務遂行に求められる専門的な知識・スキルを習得します。 | 時期未定 | 未定 | 未定 |

※上記は、2019年4月現在の予定です。講座内容は変更されることがありますので、受講の際は必ず協会ホームページをご確認ください。

(事務局・真部)

PRプランナー資格認定検定試験

新試験体系に対応した公式テキスト 『広報・PR概説』『広報・PR実践』優待販売のご案内 — 社員の広報・PR教育研修にもご活用ください —

資格委員会

当協会が実施している「PRプランナー資格認定検定試験」の新試験体系に対応した公式テキストとして『広報・PR概説（1次試験対応、A5サイズ、338ページ）』と『広報・PR実践（2次・3次試験対応、A5サイズ、363ページ）』（A5サイズ、363ページ）を、昨年10月に株式会社同友館から出版しました。

『広報・PR概説』と『広報・PR実践』は、広報・PR業務を行うために必要とする基本知識から実務知識まで、幅広く網羅しています。従って、資格試験対策だけでなく、企業の教育研修や大学のテキストとしても活用できる、汎用性の高い内容となっています。

現在、全国書店や、大学の生協やアマゾン等の書籍販売サイトにでも取り扱われておりますが、5月10日（金）まで、会員向けに優待価格での販売をいたします。優待価格は、『広報・PR概説』が2,100円（税・送料込）、『広報・PR実践』が2,400円（税・送料込）となります。優待販売のお申込みについては、ご購入される「書籍名」と「各冊数」をメール（mail@prsj.or.jp）にてご連絡ください。（正会員の方は複数冊、個人会員、準会員の方は各1冊のみの販売となります。）なお、新試験体系に準じた試験は、2019年8月以降に実施する試験からとなり、2019年5月に実施される第24回2次試験と、2019年7月に実施される第24回3次試験は、現在の試験項目と、公式テキスト（2次・3次試験は『広報・PR実務』）からの出題となります。

最後となりますが、ご多忙のなか、ご執筆、ご監修等にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。



1次試験対応テキスト
広報・PR概説

2019—2020年度版

『広報・PR概説』

PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト

仕様：A5サイズ、338ページ

価格：1部2,400円（税別）

優待価格：1部2,100円（税・送料込）



2次・3次試験対応テキスト
広報・PR実践

2019—2020年度版

『広報・PR実践』

PRプランナー資格認定制度2次・3次試験対応テキスト

仕様：A5サイズ、363ページ

価格：1部2,600円（税別）

優待価格：1部2,400円（税・送料込）

広報PRアカデミー2018

「コミュニケーション・ケーススタディ講座」を終了 第5回講座「デジタルPRスタディ」を3月14日に開講 教育委員会

さる3月14日、協会では、2018年度「コミュニケーション・ケーススタディ講座」の最終回となる第5回として、「デジタル時代におけるソーシャルメディア・リレーションズ～ソーシャルメディアを活用したリレーション構築のポイント～」を六本木アカデミーヒルズ49で開講いたしました。

本講座をもって、「広報・PRアカデミー2018」における「コミュニケーション・ケーススタディ講座」全5講座を滞りなくすべて終了しました。



「コミュニケーション・ケーススタディ講座」は、広報・PRにおいて重要な5つの領域におけるケーススタディを通じて、事例の背後にある広報・PRの考え方や原理を理解し、実務の遂行能力の育成をめざして開講しました。2018年度は、「企業広報」「危機管理広報」「マーケティングPR」「インターナルPR」、そして「デジタルPR」をテーマとして設定し、それぞれに知見の深い講師を招いて開講しています。

第5回となる「デジタルPRスタディ」には、PRやマーケティングにおけるソーシャルメディアの利用に経験の深いアジャイルメディア・ネットワーク株式会社 取締役 CMO の徳力基彦氏を講師に迎えました。

2時間の講座では、まずブログやクチコミサイト、Webなどステルスマーケティングをきっかけとして発生したさまざまな「炎上」の事例を振り返って紹介、その原因や拡散の背景や理由について解説し、どうしたら防ぐことができるかを探りました。

その後、徳力氏が「ファンやアンバサダーを軸にクチコミや評判が広まる仕組みを構築する」「アンバサダープログラム」の概念や考え方について解説、内外におけるソーシャルメディアの活用事例の分析から、その活用における「傾聴」、「会話」、「活性化」、「援」、「共創」の5つの重要なポイントについて語られました。



約30名の受講者の参加のもとに開講された本講座。徳力氏が提唱する「アンバサダープログラム」は、人々といっそう親密な関係性の構築を課題とするパブリックリレーションズにおいても応用が可能であることから、コミュニケーション業務にかかわる受講者の多くから高い関心を集めました。

2019年度の「広報・PR実務講座」において「コミュニケーション・ケーススタディ講座」は、「広報・PRスキルアップ実践講座」として発展し、多彩なテーマと講師により開講される予定です。講座の詳細は、あらためて協会ニュースやWebでご案内いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちいたします。

(事務局・真部)

広報PRアカデミー2018

第2回「広報・PRプラクティカル・トレーニング」を開催

「ネットとリアルをつなぎ、人の共感を生む『デジタルPR』の考え方」

教育委員会

さる3月6日、第2回となる「広報・PRプラクティカル・トレーニング」として、「ネットとリアルをつなぎ、人の共感を生む『デジタルPR』の考え方～『デジタルPR』の実践に必要な3つの要素～」を、六本木アカデミーヒルズ49で開講しました。

本トレーニングは、「広報・PR業務における新しい技法、重要だがあまり学ぶ機会のないスキルの習得」をコンセプトとして開講する講座です。講義に基づきグループワークなどを通じてスキルを確実に習得できるよう考慮して構成しています。2018年度における第1回講座は、昨年7月に「リスク・コミュニケーション」をテーマとして、ゼウス・コンサルティング株式会社 代表取締役社長の白井 邦芳氏にご登壇いただき開講しています。



今回の第2回講座は、広報・PR関係者から関心の高い『デジタルPR』をテーマとして設定、講師には株式会社電通パブリックリレーションズからPRプランナー 新井健太氏、シニア・コンサルタント 伊澤佑美氏のおふたりを招き、「ネットとリアルをつなぎ、人の共感を生む『デジタルPR』の考え方～『デジタルPR』の実践に必要な3つの要素～」をテーマとして開講しました。

講座ではまず、さまざまな意味合いで使用されている『デジタルPR』とはどのようなことかという問題の提起が行われ、『社会の文脈』に反応する『人の気持ち』をデジタルメディア上で顕在化させること」という定義を確認しました。そして、デジタルPRをプランニングするために必要な3つのポイントが解説され、PRとして成功させるためには人の気持ちを引き出すことが重要であり、デジタルメディア上で人の気持ちを発露させる方法についてディスカッションすることが、本講座のねらいであることが示されました。そして、より理解を深めるためにヒットを生み出した起点や社会の文脈、気持ちを発露させる際の目的について、さまざまな事例を交えて解説され、課題が提示されたグループワークではディスカッションを交えながらデジタルPRの施策がまとめられました。

4時間に及ぶ講座は、ふたりの講師の絶妙なかけ合いをとおしてテンポよく進められました。いつの間にか進行に引き込まれた30数名の受講者が、熱心にグループでディスカッションを行う様子も随所でみられ、時間もあっという間に過ぎていきました。学ぶプロセスが丁寧に組み立てられた今回の講座から、受講者は多くの気づきを得たことがうかがわれます。



2019年度から開講される「広報・PR実務講座」において「広報・PRプラクティカル・トレーニング」は「コミュニケーション・ケーススタディ講座」と統合、「広報・PRスキルアップ実践講座」として新たに多彩なテーマと講師により開講される予定です。講座の詳細は、あらためて協会ニュースやWebでご案内いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちいたします。

(事務局・真部)

第 24 回PRプランナー資格認定検定試験

1 次試験を 3 月 3 日(日)東京・大阪・福岡で実施

526 名の受験者が挑戦し、383 名が合格！

資格委員会

3月3日(日)に(東京:東洋学園大学、大阪:毎日インテシオ、福岡:AQUA博多)で行われた第24回PRプランナー資格認定検定試験1次試験では、579名の受験申込があり、そのうち516名(出席率89.1%)が受験、合格者は383名(合格率74.2%)となりました。

2007年より実施しているPRプランナー資格認定検定試験では、今回の第24回1次試験までの累計で、受験申込者は11,985名、受験者は10,997名、1次試験合格者は8,250名、合格率平均は75.0%となりました。

ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回の受験者はおよび合格者の受験者プロフィールは次の通りです。



東京会場：東洋学園大学 本郷キャンパス

<第 24 回 1 次試験 業種別/年代別合格率>

| | | PR業/ PR関連 業 | 一般企業 (広報PR関連) | 一般企業 (その他) | 各種団体 | 教育機関 | 自治体 | 学生 | その他 | 全体 |
|----|--------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|--------------|---------------|----------------|---------------|------------------|
| 男性 | 受験者 | 43名 | 65名 | 28名 | 11名 | 3名 | 17名 | 16名 | 17名 | 200名 |
| | 合格者 | 36名 | 53名 | 17名 | 9名 | 3名 | 16名 | 10名 | 11名 | 155名 |
| 女性 | 受験者 | 48名 | 128名 | 40名 | 10名 | 4名 | 6名 | 51名 | 29名 | 316名 |
| | 合格者 | 34名 | 103名 | 29名 | 7名 | 3名 | 5名 | 28名 | 19名 | 228名 |
| 全体 | 受験者 (全体比) | 91名 (17.6%) | 193名 (37.4%) | 68名 (13.2%) | 21名 (4.1%) | 7名 (1.4%) | 23名 (4.5%) | 67名 (13.0%) | 46名 (8.9%) | 516名 (100.0%) |
| | 合格者 (全体比) | 70名 (183%) | 156名 (40.7%) | 46名 (12.0%) | 16名 (4.2%) | 6名 (1.6%) | 21名 (5.5%) | 38名 (9.9%) | 30名 (7.8%) | 383名 (100.0%) |
| | 合格率 | 76.9% | 80.8% | 67.6% | 76.2% | 85.7% | 91.3% | 56.7% | 65.2% | 74.2% |

| | | ~20代 | 30代 | 40代以上 | 全体 |
|----|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 男性 | 受験者 | 66名 | 75名 | 59名 | 200名 |
| | 合格者 | 54名 | 58名 | 43名 | 155名 |
| 女性 | 受験者 | 159名 | 103名 | 54名 | 316名 |
| | 合格者 | 106名 | 78名 | 44名 | 228名 |
| 全体 | 受験者 (全体比) | 225名 (43.6%) | 178名 (34.5%) | 113名 (21.9%) | 516名 (100.0%) |
| | 合格者 (全体比) | 160名 (41.8%) | 136名 (35.5%) | 87名 (22.7%) | 383名 (100.0%) |
| | 合格率 | 71.1% | 76.4% | 77.0% | 74.2% |

| 受験者 | 合格者 | 合格率 |
|-------------|-------------|--------------|
| 516名 | 383名 | 74.2% |

※第1回~24回の累計については、資格制度Webサイトより、
資格認定制度について>過去の合格率(1次試験)

(https://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_1st_exam) をご参照ください。



会 員 限 定

PR業経営者懇談会を開催

「PRパーソンはパブリック・アフェアーズとどう向き合うべきか」

講 師：藤井宏一郎氏(マカイラ株式会社 代表取締役)

P R 業 部 会

PR業部会が主催する「PR業経営者懇談会」が3月6日、日本記者クラブ内会議室で、PR業部会員22名の出席により開催されました。一部はマカイラ株式会社代表の藤井宏一郎氏より「PRパーソンはパブリック・アフェアーズとどう向き合うべきか」というテーマで約一時間の講演。第二部は、講師を囲み立食形式での懇談が行われました。

会 員 限 定**第197回定例研究会**

広報の森を行く ～メディアリレーションズのポイント～

講師:株式会社資生堂
社会価値創造本部アート&ヘリテージ室長
上岡 典彦氏

第197回定例研究会（2月度）は、2月13日（水）、六本木アカデミーヒルズ49で開催しました。講師は（株）資生堂 上岡 典彦氏。テーマは「広報の森を行く～メディアリレーションズのポイント～」。当日の参加者は59名でした。



「媒体社だからこそ活かすPRプランナー資格」

株式会社テレビ埼玉
営業局営業部
諸星 和義

「あなたにカンケイあるテレビ テレ玉」と聞いてピンときた方。さては埼玉県民ですね。ご視聴いただき、ありがとうございます。お礼に十万石まんじゅうを差し上げたいです。私はテレビ埼玉（愛称：テレ玉）の諸星和義と申します。テレ玉は埼玉県を中心に約 871 万世帯で視聴可能な独立放送局です。チャンネルは「3」で、最近ではプロスポーツ中継や、バラエティ番組「いろはに千鳥」などのコンテンツがご好評をいただいております。この場をお借りしまして、私がPRプランナー資格に挑戦した背景を紹介させていただきます。

私は2006年にテレ玉に入社し、東日本大震災が起きた年の秋までを報道制作局報道部の記者として過ごしました。その後は、東京支社営業部を経て本社営業部に所属し、地元企業や自治体向けにCMやプロモーション施策を提案する営業をしています。取材をするメディア側であり、「PR」とは違う「宣伝」を売る部署、テレ玉のPR担当をしているわけでもありません。資格を取得されている方の多くはPR会社や企業の方々だと思いますので、「なぜ媒体社なのにこの資格をとったの？」という疑問にお答えしたいと思います。その理由はズバリ、「発信においてはPRのリテラシーが必要である」と考えたからです。

記者時代、発表資料をもとに取材したり、会見に出席して原稿を書くのが日常でした。その時に感じていたのは、企業（自治体）によって、情報発信の迅速さや正確さ、伝え方の善し悪しが全然違うということです。記事に必要な情報を適時ご提供くださる広報担当者の方はもいれば、報道価値は度外視で「ニュースで紹介して」と要望してくる広報担当者の方もいらっしゃいました。不祥事で大きく信頼を失った企業が、正しい広報対応と情報開示で信頼を少しずつ回復する様子を近くで見ていると、広報の力の大きさを認識せずにはいられませんでした。「企業の伝えたいことと社会が求めていることを見極めて、正しい発信をするためには、PRの勉強が必要なのでは」と思ったのはこの頃です。

実際に資格取得のために勉強を始めたのは東京支社営業部になってからで、通勤時にはいつも公式テキストを読んでいました（分厚いので鞆はいつもパンパンです・・・）。営業の立場になると、クライアント企業の広報・宣伝担当の目線で提案内容を考えることが多くなりました。特に、中小企業は広報も宣伝も担当者がおらず、社長が広報窓口になっているケースも少なくありません。PRが足りずに、その価値がうまく知れ渡っていない企業が山ほどあります。私の仕事は地元企業の広報・宣伝活動についてフォローし、発展に結びつけるコンシェルジュのような存在でありたい、というのが持論です。宣伝の提案とあわせて、広報面のアドバイスをするスキルを身につけることができれば、多少なりともクライアントの力になれるのではという想いが強くなりました。

記者時代に各社のプレスリリースに触れていたこともあって、3次試験も無事にパスできました。名刺に「PRプランナー」を刻んだうえで、クライアントと会ってみると、これまでよりも企業の側に立って考え、自信をもってコミュニケーションができるようになった気がします。

部署や職務が何であっても、メディアに携わっている以上、PRへの理解は必要であると考えています。情報提供者の真意を読み取って発信する力、広報で企業を後押しする力、それぞれ方向は違いますがPRプランナーの知識はその両方の土台となります。これからは、自分自身の経験値を積み上げる事でその土台をより強固なものにできればと考えています。会社のキャッチフレーズ「あなたにカンケイあるテレビ」の通り、私にカンケイした企業・自治体が笑顔になるような仕事ができればPRプランナー冥利に尽きます。

<コラム四国の風>

日本パブリックリレーションズ協会との出会い

星企画株式会社
社長 薬師神 権祐

約20年前、ローカルの広告会社としても広報PRの知識が絶対必要だと感じたことが入会の動機でした。関西支部に所属し、愛媛で「出前講座」として、PR協会の学習会をしていただいたこともあります。

星企画 経営理念

優れた広告コミュニケーションをつくることがお得意先に繁栄をもたらしお得意先が繁栄することがわが社の繁栄に通じる唯一の道である

『小さくても日本一!!』を目指します!!

今年、創立41周年を迎える当社は、“お得意先の繁栄”を社員の仕事の使命とし、お得意先の繁栄を通じて地域社会に貢献したいと考えています。

アイデア無限！打つ手も無限！優れたアイデアでお得意先のお役に立てるよう日々努力しています。IT社会の飛躍的な発展は価値観の複雑化を生み、これまでの広告コミュニケーション手法では生活者動向を掴みにくくなってきています。私たちは、お得意先を取り巻くコミュニケーション環境に対して、「市場」「消費者」「社会」などマーケティング分析を踏まえながら、つねに顧客視点で、「Good idea. Best Communication.」を提供していきます。

『小さくても日本一!!』を目指します。

“プロ野球の地域独立リーグ”

県民球団・愛媛マンダリンパイレーツの運営に参画!!

地域のスポーツ文化の創造および、青少年の健全育成などを目的に、地域に立脚した広告会社のひとつの使命として、プロ野球独立リーグの企画運営に

かかわっています。2006年には四国アイランドリーグに出資し、広告会社としては“日本で唯一”である愛媛マンダリンパイレーツ球団の運営を開始。その他、スポーツ・文化支援事業として「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 事務局や、坊っちゃん劇場広報紙「プレス坊っちゃん劇場」の制作等も手掛けています。



アイデアで
明日をつくる。



広告会社のコンソーシアム「メイシス」を発足

1999年に日本全国にある17地域の広告会社が集まり、広告会社のコンソーシアム「メイシス」を発足。2001年にメイシス株式会社と法人化し、より強固なネットワークへと進化しました。私たち「メイシス・グループ」はコミュニケーション上のさまざまな課題を解決する、日本初かつ唯一の「広告シンジケート組織」です。“グローバル”という言葉が注目される昨今、私たちは地域密着の広告会社だからこそ、地域にこだわります。



星企画ファミリーのみんなと共に!!

昨年(2019年)の6月1日で星企画は創業40周年を迎えることが出来ました。数えきれないほどのお得意先や、素晴らしい協力会社さん、そして何より多くの星企画ファミリーの社員の皆さんに支えられて40年という節目の年を迎えることが出来ました。これからも新たな星企画の物語を社員の皆さんと一緒に創り上げ、未来の社会、お得意先、協力会社そして社員の皆さんやその家族の皆さんに共感され、必要とされる会社を目指していきたく思います。



PRSJ in Media

● 3月1日（金） 『月刊広報会議』4月号

「月刊広報会議」4月号における当協会のコラムで、1月24日に実施した2018年度日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」及び「パーソン・オブ・ザ・イヤー」の授賞式について掲載がありました。

記事では、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を「きまぐれ八百屋 だんだんワンコインこども食堂」が受賞したことに触れ、主催した近藤博子氏とスタッフが畔柳理事長から表彰されたことを伝えています。また、「パーソン・オブ・ザ・イヤー」はお笑い芸人の渡辺直美氏が受賞、海外出張で日本を離れ欠席されていることから、ビデオメッセージを通じて受賞の喜びが伝えられたことを報じています。

さらに記事では、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」と「パーソン・オブ・ザ・イヤー」の趣旨ならびに歴史、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞した渡辺直美氏からのビデオメッセージのポイント、「パーソン・オブ・ザ・イヤー」を受賞した「きまぐれ八百屋 だんだんワンコインこども食堂」の概要や表彰された近藤氏によるメッセージなどが紹介されました。

（事務局・真部）

[記事協力 ㈱内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載